

公益社団法人南城市シルバー人材センター
令和5年度事業報告

I. 概要

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5月に5類に引き下げられ、受注事業も徐々に感染前までに回復する兆しを見せている。また、10月より（適正請求書等保存方式）インボイス制度が実施され、今まで控除対象であった配分金にも消費税の納付義務が発生し、そのために当センターが負担する事になり、財政上依然として厳しい状況にある。

このような中、当センターは第4次中期事業計画の3年目に当たり、目標達成に向けて、会員・役職員が一体となって事業推進に取り組んできたが、公共から受託していた委託業務の契約金の減少がみられ、そのため前年度に比べ契約金額が大幅に減額となった。また、就業延人員及び配分金についても同様に減となった。会員については、主に加齢等を理由に退会者が増え27人の減となったが、就業率については3.4ポイントの増になった。

独自事業のグリーンエコリサイクルセンター事業については、これまで大型機械等の経年劣化による故障等により対応に苦慮してきたが、市の補助金を活用した機械8台の導入により、順調に事業を推進することができた。

同じく独自事業のヘナ・インディゴ栽培については平成29年度から開始してきたが、毎年度の赤字が累積しており、今後の事業の継続について総務財政委員会で検討を行い、更に理事会において慎重に審議された結果、終了となった。

派遣事業については、新規事業により増となり、社会参加活動として取り組んだボランティア活動は14人の減ではあったが、シルバー事業の普及啓発に大きく繋がった。

令和5年度の事業状況の概要は次のとおり。

項目	5年度	4年度	増減
会員数	198人	225人	△27人
契約金額	96,158,671円	98,210,920円	△2,052,249円
就業率	72.7%	69.3%	3.4%
就業延人員	14,885人日	15,775人日	△890人日
配分金	68,443,618円	69,335,486円	△891,868円
ボランティア数	174人日	188人日	△14人日
派遣事業延人日	825人日	741人日	84人日

※ 人口 46,498人 60歳以上 15,039人(32.3%) 令和6年3月末日

II. 事業実施報告

(1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 受託事業

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高齢者に相応しい地域に密着した仕事を家庭、民間事業者、官公庁等から有償で引き受け、高齢者の能力、希望に応じて請負又は委任により、除草や屋内外の清掃、大作業、福祉・家事援助サービス、農作業、デマンドバスオペレーター業務、ごみ回収等の就業を提供した。

〈実績〉 就業延人日 13,799 人日 ・ 受注件数 519 件

② 独自事業

高齢者の就業機会を拓げるため、高齢者独自の創意と工夫によるグリーンエコリサイクル事業を行った。

〈実績〉 就業延人日 1,086 人日

(2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 有料の職業紹介事業

雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者に対し、有料の職業紹介事業を行った。

〈実績〉 件数 0 件

② 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

派遣による雇用就業を希望する高齢者に対し、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の範囲で一般労働者派遣事業を行った。

〈実績〉 件数 26 件 ・ 就業延人日 825 人日 ・ 契約額 4,134 千円

(3) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会

① 技能講習会の実施

就業上必要な知識、技能を就業意欲のある高齢者に付与することにより、実際の就業に結びつけるとともに、より広い就業分野での仕事の確保と提供を行い、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与した。

〈講習会の開催〉

・刈払機取扱講習会 4回 延べ105名

(4) 上記(1)~(3)の事業を推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動

① 普及啓発

シルバー事業の信頼と理解が得られるよう、市民、事業所、官公庁に対し、事業の意義と基本的な理念及び仕組み等を周知すると共に、高齢者自身に対する意識啓発を行った。

＜具体的取り組み＞

- ア 多様な知識・資格・能力を持つ高齢者への事業参加の呼びかけ
名刺カードを作成し、会員一人ひとりが地域の高齢者に配布し、事業への参加を呼びかけた。
- イ シルバー広報紙「くがに」を3回発行
シルバー広報紙「くがに」を3回発行し、シルバー事業の意義や理念を周知するとともに、会員の声や就業状況、ボランティア活動等を紹介し、高齢者の意識啓発につなげた。
- ウ 普及啓発促進月間（10月）の推進
南城市役所に隣接する公共駐車場の清掃ボランティア活動を行い、シルバー事業の普及啓発につなげた。
・ボランティア参加数 48名
- エ マスメディアへの活動情報の提供
ボランティア活動等の状況を市の広報担当に情報提供した。
- オ ホームページを利用した情報提供
ホームページを利用し、シルバー事業の内容や活動情報を提供した。
- カ その他、必要な事項（チラシ、パンフレットの配布等）
市民、事業所、官公庁等に対し、チラシ、パンフレット等を配布し、シルバー事業の理念を周知した。また、役所入り口でチラシを配布し来庁者へのシルバー事業の理念を周知した。

② 安全・適正就業の推進

センターから提供した仕事を安全かつ適正に遂行できるよう、高齢者の安全意識の高揚と啓発活動を行った。

- ア 安全・適正就業推進委員会の開催。（年3回）
- イ 安全・適正就業推進員の配置と安全パトロールの実施
・安全・適正就業推進委員会による巡回指導。（年12回）
- ウ 安全・適正就業強化月間（7月）の設置と大会の開催
・安全・適正就業推進大会 2回開催
（7月28日 32名参加）（9月28日 42人参加）
- エ 「適正な運営のための受注基準」に基づく受注の徹底
就業の受注においては、受注基準を順守し、適正な運営に努めた。

オ その他、必要な事項（安全・適正就業に関する朝礼での情報提供等）

当センターで発生した事故の状況及び県連合から提供された、県内全センターの事故発生情報を朝礼で報告し、再発防止に努めた。

③ 調査研究

時代の要請に対応した事業展開を図るため、高齢者の就業に対する意識と就業実態に関する調査やシルバー事業への評価等の調査を行った。

・高齢者 10人

ア シルバー事業に対する一般高齢者や会員の意識調査の実施

新規入会者を対象にシルバー事業に対する意識調査を行った。

・新規入会者 17人

イ 一般家庭、民間事業者、官公庁等の意識調査の実施

発注者を対象にシルバー事業に対する意識調査を実施した。

・発注者 5件

④ 就業分野の開拓・拡大等

高齢者に相応しい仕事を積極的に開拓するとともに、職業能力や経験を把握分析し、地域ニーズに対応する仕事の提案を行った。

ア 会員・職員の事業所等への開拓訪問の実施

・訪問件数 10件

イ 就業機会開拓員の配置と就業開拓の推進

・新規開拓 59件

ウ 会員の知識・資格等を活用した独自事業や新たな就業分野の検討

汚泥発酵堆肥の製造・販売（15k・5k）を行い、会員の就業拡大に繋がった。

⑤ 相談・情報提供

入会を希望する高齢者に対し、入会説明会を実施し、高齢者からの相談、または、地域における働く高齢者のワンストップサービスセンターとして、相談、情報提供を行った。

ア 市内在住高齢者に対して入会説明会の開催

・年間 14回開催 34人参加 17人入会

イ 高齢者への相談対応

入会説明会に併せて相談対応を行った。 34人参加

⑥ 社会参加活動の推進

ボランティアによる社会参加を希望する高齢者に対し、市民、事業所、官公庁と連携してボランティア活動を推進した。

・地域と連携したボランティア活動及びその他ボランティア活動
延 174人参加

(5) 運営体制

① 理事会活動の強化

センター運営体制の充実強化を図るため、次のとおり取り組んだ。
会議の開催

・ 定時総会（5月26日） ・ 理事会 12回 ・ 三役会議 12回

② 会員組織の強化

地域班毎に毎月ボランティアをすることで、組織強化に繋がった。

・ ボランティア活動 8回

③ 専門委員会活動の強化

ア 総務財政委員会 2回

イ インボイス制度勉強会（総務財政委員会委員及び職員）

④ 事務局体制

・ 職員会議 38回

⑤ その他必要な会議の開催

・ 連合主催事務局長会議及び職員研修

⑥ 関係行政機関及び各種団体との連携

ア 南城市地域包括支援センターとの事業調整会議 3回

イ 南城市観光商工課との事業調整会議 4回

ウ 南城市教育施設課との事業調整会議 1回

エ 南城市政策調整室との事業調整会議 4回

オ 南城市産業振興課との事業調整会議 4回

カ 南城市デジタル推進課との事業調整会議 2回

キ 南城市生活環境課との事業調整会議 1回